

報 雜

◎人 事

敘正七位 從七位 西山逸平

(四月十六日)

岡山醫科大學助教授 濱崎幸雄

陸裁高等官四等

(五月一日)

海軍機關學校軍醫長兼教官兼
輪要港部部員海軍軍醫中佐 長谷川靜一

吳鎮守府附被仰付

(五月二日)

岡山醫科大學助教授 濱崎幸雄

本俸七級俸下賜

(五月九日)

吳海軍病院副官兼
部員海軍軍醫中佐 菅田直樹
補吳海軍病院部員

(五月十日)

歩兵第十聯隊附陸軍一等軍醫 清水 伸
補陸軍野戰砲兵學校附

(五月十七日)

○緒方益雄君 既記の通り歐米各國に出張を命ぜられたる岡山醫科大學教授緒方益雄君は本月31日神戸解纜の白山丸にて出發せられたり

○平田善夫君 は今般縣立宮崎病院を辭し岡山醫科大學生理學教室に於て研究に従事せられたり

○伊達富久君 は今般本縣久米郡大坪和村診療所を辭し岡山市東中山下牧野外科病院に勤務せられたり

○吉田智一君 は先般山口縣防府町弘中病院を辭し滿洲鞍山、滿鐵鞍山醫院外科に勤務せられたり

○藤原一幸君 豫て北海道帝國大學醫學部西川外科教室に勤務中の同君は今同其の職を辭し山口縣徳山町海軍共濟組合病院に勤務せられたり

○建 義郎君 は今般津山市森岡醫院を辭し岡山醫科大學耳鼻咽喉科教室に於て研究に従事せられたり

牧野滿末君逝く 君は大正4年岡山醫學專門學校を卒業し島根縣簸川郡灘分村に於て開業し居られしが去月24日病を以て遠逝せられたりと寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

榎本(舊姓岩井)知義君遠逝す 君は昭和3年岡山醫科大學を卒業し直ちに同學稻田内科教室に勤務し今日に至りしが本月2日急病を以て遠逝せられたり寔に痛惜に堪へず謹みて茲に弔意を表す

伊藤英雄君逝く 君は明治32年第三高等學校醫學部を卒業し姫路市に於て開業し後神戸市に轉じ依然診療に従事し居られしが本年3月1日永眠せられたりと寔に哀悼に堪へず謹みて茲に弔意を表す

◎學位授與

森十司、安本和夫、難波颯逸、藤原敏三、桂直義、磯野隣夫、高井禎道の7君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが森、安本の兩君は本年3月5日、難波、藤原、桂、磯野の4君は本年3月19日、高井禎道君は本月16日の教授會を通過し前者は本年4月20日附後者は本月8日附又高井君は本月23日附を以て孰れも醫學博

士の學位を授與せられたり其の主論文及び參考論文は左の如し

森 十 司 君

主 論 文

種々ナル脊椎動物眼球ニ於ケル脂肪及ビ類脂肪
殊ニ「コレステリンエステル」ノ發現ニ就テ

個體發生學的竝ニ種屬發生學的研究

第1報 家兎胎仔ノ眼球ニ就テ (本誌第45
年第8號ニ發表セリ)

第2報 家雞「エンブリオ」ノ眼球ニ就テ (本
誌第45年第9號ニ發表セリ)

第3報 家兎竝ニ2,3哺乳動物ノ眼球ニ就テ
(追テ本誌ニ發表ノ豫定)

第4報 家雞竝ニ2,3鳥類ノ眼球ニ就テ (追
テ本誌ニ發表ノ豫定)

第5報 爬蟲類及ビ兩棲類ノ眼球ニ就テ (追
テ本誌ニ發表ノ豫定)

第6報 2,3魚類ノ眼球ニ就テ (追テ本誌ニ
發表ノ豫定)

參考論文

第1. 人ノ眼球ニ於ケル脂肪及ビ類脂肪ノ發現
竝ニ老性變化ニ關スル1,2知見補遺 (本誌
第45年第9號ニ發表セリ)

第2. 眼瞼ノ脱疽ニ就テ (森十司, 山本陸治共
著) (明治35年日本眼科學會雜誌第1151頁
ニ發表セリ)

安 本 和 夫 君

主 論 文

移植試験ヲ以テセル腦下垂體前葉ノ生物學的機
能ニ關スル知見補遺

第1編 移植量ノ前葉反應ノ關係ニ就テ (日
本婦人科學會雜誌第28卷第7號ニ發表セ
リ)

第2編 動物ノ種族及ビ性別ニヨル前葉「ホ

ルモノ」含有量ノ差異 (日本婦人科學會雜
誌第28卷第7號ニ發表セリ)

參考論文

第1. 腦下垂體前葉ニ於ケル「ホルモン」產生細
胞ニ關スル實驗的研究 (日本內分泌學會雜
誌第9卷第5號ニ發表セリ)

第2. 移植試験ヲ以テセル腦下垂體前葉ノ生物
學的機能ニ關スル知見補遺

第3報 移植前葉組織ノ移植地ニ於ケル運
命 (本誌第45年第11號ニ發表セリ)

第3. 同上

第4報 前葉反應發現時期ト試驗動物ノ體
重トノ關係ニ就テ (本誌第45年第11號
ニ發表セリ)

第4. 雌性「マウス」性週期ニ關スル知見補遺
(臨牀產科婦人科第8卷第7號ニ發表セリ)

難 波 颯 逸 君

主 論 文

結核ト食餌ノ關係ニ就テ

其1. 肺結核患者, 減鹽食療法ノ際ニ於ケル
血液像竝ニ赤血球沈降速度ノ變化ニ就テ
(日本內科學會雜誌第20卷第5號ニ發表セ
リ)

其2. 肺結核患者ノ脾臟食療法ニ就テ (日
本內科學會雜誌第20卷第7號ニ發表セリ)

其3. 結核ノ進行ト食餌ノ種類ニ關スル實驗
的研究

1. 脾臟物質ノ結核海猿ニ及ボス影響; 血
液所見ノ消長ニ就テ (日本內科學會雜
誌第21卷第5號ニ發表セリ)

2. 含水炭素, 脂肪, 蛋白及ビ「カルチウ
ム」食ノ影響竝ニ結核感染動物臟器ノ分
析 (追テ日本內科學會雜誌ニ發表ノ豫
定)

參考論文

1. 脾臟物質ノ肺結核ニ及ボス影響
附. 炎衝周邊部血液像(Perifokales Blutbild)
ニ就テ (追テ日本内科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
2. 炭肺ト結核 (追テ日本内科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
3. 1, 2 藥品ト水分代謝 (本誌第 40 年第 11 號ニ發表セリ)
4. 腦下垂體後葉物質ノ腎臟作用ニ就テ腎臟色素濃流ニ及ボス「ピツイトリン」ノ影響 (本誌第 44 年第 5 號ニ發表セリ)

藤原敬三君

主論文

炭水化物新陳代謝ニ於ケル脾臟「ホルモン」ト膽汁酸トノ關係ニ就テ

- 其 1. 別脾家兎ノ血糖量ニ及ボス膽汁酸「アドレナリン」及ビ脾臟糖原質ノ影響 (獨逸生化學雜誌第 256 卷第 46 號ニ發表ス)
- 其 2. 別脾家兎肝臟ノ糖原質生成ニ及ボス膽汁酸ノ影響ニ就テ (獨逸生化學雜誌第 259 卷第 1—3 號ニ發表ス)
- 其 3. 別脾家兎肝臟糖原質生成ニ及ボス「アドレナリン」脾臟糖原質及ビ「ヒヨール」酸ノ影響 (獨逸生化學雜誌第 265 卷第 1—3 號ニ發表ス)

參考論文

1. 別脾家兎血糖ニ及ボス膽汁酸及ビ少量「アドレナリン」ノ影響 (倉敷中央病院年報第 8 年第 2 號ニ發表ス)
2. 瘧形ニ口瘻病家兎ニ於ケル含水炭素新陳代謝ト脾臟トノ關係ニ就テ (倉敷中央病院年報第 7 年第 2 號ニ發表ス)
3. 別脾家兎血液殘餘窒素ニ及ボス「ヒヨール」

酸ノ影響 (倉敷中央病院年報第 8 年第 2 號ニ發表ス)

4. 實驗的腎臟炎家兎ノ輸血ニ因ル血液殘餘窒素量及ビ尿總窒素量ノ消長ニ就テ (倉敷中央病院年報第 8 年第 1 號ニ發表ス)

桂直義君

主論文

視野ニ關スル研究

- 其 1. 自家新案視野計, 視標並ニ眼周圍隆起測定器ニ就テ (日本眼科學會雜誌第 38 卷第 3 號ニ發表ノ豫定)
- 其 2. 視野(靜視野)ニ就テ (追テ日本眼科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
- 其 3. 注視野ニ就テ (同上)
- 其 4. 動視野ニ就テ (同上)
- 其 5. 視標ノ色並ニ大サノ視野ニ及ボス影響ニ就テ (同上)
- 其 6. 對比色視標ヲ以テセル視野ニ就テ (同上)

參考論文

- 其 1. 本邦人ニ於ケル眼姿勢研究 (本誌第 44 年第 6 號ニ發表ス)
- 其 2. 同續報, 年齢ニ伴フ除膜線下降ノ原因ニ就テ (本誌第 44 年第 8 號ニ發表ス)
- 其 3. 中心外視力ニ就テ (追テ日本眼科學會雜誌ニ發表ノ豫定)
- 其 4. 明適應明度並ニ時門ノ暗適應機能ニ及ボス影響 (高橋重勝, 桂直義共著) (同上)
- 其 5. 硝子體濁濁ノ統計的觀察 (追テ實驗眼科醫報ニ發表ノ豫定)

磯野隣夫君

主論文

臍帶脱落ニ關スル研究 (追テ本誌ニ發表ノ豫

定)

参考論文

- 其 1. 卵巣ノ血管硬變症ニ就テ (本誌第 44 年
第 10 號ニ發表セリ)
- 其 2. 臍帶血管ノ形態學的研究 (臨牀產科第 7
卷第 6 號ニ發表セリ)
- 其 3. 婦人科疾患ト腦下垂體前葉「ホルモン」
「プロロン」A トノ關係 (大阪醫事新誌第 5. 6
號ニ發表セリ)
- 其 4. 鈴木式高能顯微印畫法ニヨル「レントゲ
ン」線照射皮膚及ビ妊娠線ノ觀察 (追テ本誌
ニ發表ノ豫定)

高井 頑道君

主論文

腎臟原基ノ發生ニ關スル研究 (豚胎兒ニ於ケル
檢案) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

参考論文

- 其 1. 腎盂ノ形態學的發生ニ就テ (本誌第 44
年第 11 號ニ發表ス)
- 其 2. 腎臟原基ノ發生ニ關スル研究 (集合管系
統ノ發生ニ就テ) (家雞胎兒ニ於ケル檢案)
(本誌第 45 年第 6 號ニ發表セリ)
- 其 3. 腎臟原基ノ發生ニ關スル研究 (細尿管ノ
發生ニ就テ) (家雞胎兒ニ於ケル檢案) (追
テ本誌ニ發表ノ豫定)
- 其 4. 鳥類ニ於ケル胃腺ノ發生ニ就テ (家雞胎
兒ニ於ケル檢案) (追テ本誌ニ發表ノ豫定)

◎野球大會

岡山醫科大學野球部主催にて第 6 回關西高等専門
學校野球大會は本月 26, 27 の兩日同學運動場に於
て開催セリ參加校は左記の通りにて松山高等學校
優勝したり

甲南高等學校 姫路高等學校 速浪高等學校
山口高等學校 第六高等學校 高知高等學校
松山高等學校

◎正誤

本誌第 46 年第 3 號己斐言君論文「Adrenalin 及ビ
Adrenalon ノ注射後起ル家兎氣管枝筋竝ニ心筋纖
維ノ變化ニ就テ」の 556 頁文獻中 15—23 下記の
通り訂正す

- 15) 藤田, 岡醫雜, 第 446 號, 179 頁, 1927.
16) 山内, 岡醫雜, 第 432 號, 1 頁, 1928.
17) 山内, 岡醫雜, 第 519 號, 857 頁, 1933.
18) 今橋, 岡醫誌, 第 521 號, 1107 頁, 1933.
19) 須之内, 岡醫雜, 第 490 號, 2764 頁, 1930.
20) 谷, 岡醫雜, 第 490 號, 2769 頁, 1930.
21) 谷, 岡醫雜, 第 490 號, 2789 頁, 1930.
22) 谷, 岡醫雜, 第 494 號, 734 頁, 1931.
23) 谷, 岡醫雜, 第 499 號, 1999 頁, 1931.